

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2007 冬号

Vol.009



http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

観光客が選ぶおすすめショップ アートカクテル2006
FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！

笠間再発見！

合気道の聖地=笠間から世界へ。

笠間昔話

笠間稲荷の菊まつり(その2)

冬のイベント情報

かさま除夜の鐘、彩初燵市、ほか

メイド・イン・笠間で行こう！

いなだストーンエキシビジョン

特別企画・2007年は開催100周年！

笠間稲荷の菊まつり **その2**

「菊人形の起こりとその作り方」

写真提供/笠間稲荷神社

昔話 笠間



人の体格に合わせて作られた“胴柄”。
ここから菊人形が作られています。

菊人形の起こり

菊人形の起こりは諸説があり、一般的には江戸時代後期といわれています。江戸の巣鴨・染井の植木職人（庭師）の手によって、人形の衣装に替わって菊の花を株ごと着せたり（根は表から見えない様工夫）、動物や岩、山などを細工して、見せ物として公開したのが始まりとされています（文化9～10年（1812～13年）の頃らしい）。その後、弘化元年（1844年）頃、巣鴨の靈感院で、菊の花で龍の口御難や蒙古襲来の場面が評価を呼びましたが、戊辰戦争、西南戦争などで秩序が乱れ中断してしまいます。明治10年（1877年）頃になって、歌舞伎の花形役者の菊人形によって狂言の舞台が作られ、当節の歌舞伎熱とあいまって活気を取り戻しました。また、日清・日露戦争など戦の場面が勝ち戦のブームに乗って好んで作られるようになってきます。

菊人形の作り方

菊人形は、「巻きワラ」と呼ばれる直径約1cm、長さ1.8～2m位のワラの紐で体形が作られていきます。竹ヒゴを芯に、周囲をワラで包み、タコ糸で螺旋状に束ねた紐で、ほぼ等身大の人の体格に合わせ、立体的に膨らみを持たせて作られた「胴柄」に、ひばの葉を下地に菊花の株（丈40～60cm）を着付けていきます。人形一体で約50～80株位使われます（大人、子供、立姿、座姿、男女の作りで異なる）。

笠間稲荷神社の菊人形

笠間稲荷神社では、明治23年（1890年）から続いた朝顔会が発展して、日清・日露戦争で疲瘦した参拝者の心を和ませるのと、信仰心を養うことを目的に、当神社独自で菊の農園部を開設し、菊の栽培が始まりま

す。こうして開花した菊花を境内に展示したところ参拝者から大変喜ばれました。明治41年（1908年）のことです。

昭和に入って戦時中は物資不足によってやむ無く菊まつりを縮小しますが、昭和23年（1948年）に復活し、菊花展に併せ菊人形展も一心太助や大久保彦左衛門など五場面作られ大評判を呼びました。以来、翌年から体数を増やし、仕掛けにも工夫を凝らす（段返し等）等て有料化を図り、現在に至っています。

当神社の菊人形は、美術、装置、背景担当は東京の高橋幸太郎、高橋正行、人形師は埼玉県加須市の保坂勝三、菊師は名古屋の高橋兼安、大道具・小道具は当神社の職方、木内一、藤又森之丞、表具師は飯島昌、飯島智などの人々により作られたものです。現在は、背景師に東京の鎌田節郎、菊師に名古屋の杉浦利秋、人形師に岩田健一、大道具・小道具は宮大工の佐々木喜三郎に引き継がれています。

冬のイベント情報

笠間の冬のイベント情報です。寒さに負けずに大いに楽しみましょう。

笠間日動美術館

「芸術家の書」 書モノ絵画タリ人格ナリ

2/4(日)まで
笠間日動美術館所蔵の近代画家の書を中心に水墨画なども展示します。

料/大人1,000円、大高生700円、中小生500円、65才以上800円

休/月曜日(但し祝日は開館、翌日休館)、年末年始

問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

スカイロッジ冬期半額キャンペーン

12/1(金)~12/21(木)、1/4(木)~3/30(金)のみ

※但し、土曜・祝前日を除く。

利用料金を半額で提供。この機会にぜひ利用してみてください。料金は4人棟 16,800円 → 8,400円より。ほかに6人棟、12人棟もあります。

問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622
www.city.kasama.lg.jp/ss_info/index.html



来年へ歩く会

12/31(日) 22:45~23:30(受付時間)

愛宕神社の初詣と山頂で初日の出はいかがですか。

記念品として湯呑茶碗をプレゼント(限定500名)

場/歌舞伎駐車場(受付)→愛宕神社(初詣)

料/無料

問/岩間海洋センター tel 0299-45-7085

第6回 かさま除夜の鐘

12/31(日) 23:30~元旦1:00

除夜の鐘とは、大晦日の夜に百八の煩惱を除去する意味で行われる行事。佐白山麓公園内の時鐘楼で行われる「かさま除夜の鐘」は、参加人数の限定なく、1人2回鐘を打つ事が出来ます。温かいお飲物等をご用意してお待ちしています。

場/佐白山麓公園内 時鐘楼

問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

初詣

初詣に伴い、笠間稲荷神社周辺道路では正月三

が日、交通が規制され歩行者専用道路となります。

場/笠間稲荷神社、常陸国出雲大社、愛宕神社など

問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama



笠間工芸の丘

「彩初葉市企画展」1/2(火)~1/21(日)

「第3回ひとにやさしい器展」1/2(火)~1/21(日)

「糸賀陶房新作展」1/24(水)~2/12(月・祝)

「桃宴」2/1(木)~3/4(日)

「飯野英寿作陶展」2/15(木)~3/4(日)

「高野陶房三人展」3/7(水)~3/25(日)

「渡部源土(佳文)作陶展」3/7(水)~3/25(日)

休/月曜日(但し祝日は開館、翌日休館)、年末年始

問/tel 0296-70-1313

www.kasama-crafthills.co.jp



彩初葉市

1/2(火)~1/5(金)

今年で8回を数える恒例のお正月イベントで、笠間焼の展示即売会です。作家さんにとっては、この年初めての窯出し。どんな作品に出会えるか楽しみです。

場/笠間工芸の丘

問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

www.kasamayaki.or.jp/event/index.htm

第11回 笠間観光フォトコンテスト応募作品展

1/9(火)~1/19(金)

今回、約430点もの応募がありました。入賞・入選した作品を中心に応募作品展を行います。

場/笠間ショッピングセンターポレポレシティ セントラルコート

問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

ワーホイ

1/13(土) 18:00~(天候により延期)

小正月に行われる伝統的な五平地区の火まつり。

藁で組んだ櫓を燃やし、古くなった札を焼き、無病息災を祈願します。餅を焼いたり、甘酒や綿あめなども振舞われます。数の限定あり。

場/五平地区内水田

問/藤枝勉 tel 0296-77-0247



かさま観光いちご祭り

1月中旬から5月中旬まで

場/笠間観光いちご園

tel 0296-72-9280(笠間みんげい)

場/南指原観光いちご園 tel 0296-70-3133

問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.city.kasama.lg.jp/garten/ichigo/index.htm

茨城県陶芸美術館

「景德鎮千年展」皇帝の器から毛沢東の食器まで

1/20(土)~3/21(水・祝)

中国南部の江西省に位置し、世界有数の磁器の生産地として知られる景德鎮(けいとくちん)。その千年にわたる流れを、宋~清時代の名品と、現代になって制作された食器など、併せて約130件でたどります。

料/一般700円、大高生500円、小中生250円

休/月曜日(但し2/12は開館、翌日休館)

問/茨城県陶芸美術館 tel 0296-70-0011

www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

笠間クラインガルテン

1/20(土)~1/21(日) 地元農産物の特売会

問/tel 0296-70-3133(直売所)

www.city.kasama.lg.jp/garten/index.htm

第7回 桃宴

2/1(木)~3/4(日)

各工房・店舗にスペースを設け、陶雛を展示即売します。飲食店では、お雛さまにちなんだメニューを提供。また、お雛さまコンサートや市内の小学生を対象にしたワークショップ、ふるさと案内人と巡るお雛さま展の企画を予定しています。詳細はお問い合わせ下さい。

場/陶の小径、やきもの通り、ギャラリーロード、笠間稲荷神社周辺など

問/陶の小径商店会 tel 0296-72-6865(山崎)

www.city.kasama.lg.jp/ss_info/index.html



節分祭

2/3(土)

場/笠間稲荷神社、常陸国出雲大社、佐白観世音寺、鳳台院、愛宕神社など

節分とは、立春の前日に悪疫退散、除災、招福の意味で行われる神事。市内各神社仏閣で節分祭が催されます。

問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama



岩間烏よばり

2/11(日) 6:00~7:00

古来より関東地方の各家々の田んぼで行われていた、稲作の予祝行事「烏よばり」を復活しました。豊作を祈願してサイコロのように刻んだ餅をまいて烏を呼び、稲の作柄を占います。

場/岩間地区泉の田んぼ

(愛宕山東面裾野の長田んぼ)

問/岩間伝統行事保存会 tel 050-3410-0503

〈特別展示〉

1/24(水)まで

昨年実施された「岩間烏よばり」の写真やビデオ、使用された式具が展示されています。

場/茨城県立歴史館

問/岩間伝統行事保存会 tel 050-3410-0503

合気道の聖地=笠間から世界へ。

笠間再発見!

VOL.09

世界中に愛好者がいる合気道。笠間には、開祖の植芝盛平大先生(1883~1969年)によって建てられた合気神社、そして道場があります。この地で合気道は完成し、そして世界へ広がっていったのです。



稽古はみんな真剣、でも終了後は和気あいあいです。



1 まずはあいさつから。礼儀が大事です。 2 そして準備体操。念入りにやります。

3 稽古開始。みんな真剣です。この日の指導は稲垣繁實(いながきしげみ)七段。およそ1時間の稽古の後、道場の掃除をして解散になります。



開祖の植芝盛平(うえしばもりへい)大先生。



MAP

【アクセス】
岩間ICより車で5分



こちらが合気神社。合気道に関わる神社は全国でここだけ。世界中の道場生たちがここへ参拝に訪れます。

開祖が移り住んだ笠間(旧岩間)の道場

合気道は、他人と優劣を競うことをしません。試合を行わないことから「平和の武道」と呼ばれたりします。開祖である植芝盛平翁(道場生たちは尊敬と親しみを込めて「大先生~おおせんせい」と呼びます)が、日本伝統の武術を極め、さらに厳しい精神修行を経て創始した現代武道です。現在では世界に広がり、約85か国において支部道場が設立されています。

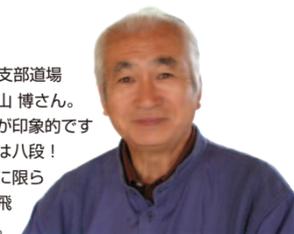
合気道を運営する財団法人合気会の「茨城支部道場」が、笠間市内(岩間地域)にあります。笠間は、開祖が最後の修行のために夫人と共に移り住んだ土地で、道場の目の前には世界でここだけという「合気神社」があります。どちらも開祖の手によって創建されました。道場は、「合気道の産屋」と称され、合気道を完成させた場所とされています。ここから、明日の合気道を担う多くの指導者たちが誕生していきました。

現・茨城支部道場長代行(道場長は3代目当主の植芝守央氏)の磯山博さんに話を聞きました。磯山さんは、開祖自らに指導

を受けた貴重なひとりで。大先生とのエピソードを披露していただきました。「初や(開祖の奥さんの名前)。磯山くんが来たからお酒を爛してきなさい」と大先生は飲まないのに、よくお酒をごちそうしてくれました。道場の中では厳しかったですが、道着を脱ぐと、本当に面倒見の良い方でしたよ...心温まる話です。合気道の精神性がこんなところにも表れていると思いました。

現在、茨城支部道場には50人ほどの道場生がいます。子供から大人、男性に女性、日本人、ミャンマー人、スウェーデン人、イギリス人...年齢、性別、国籍を問わず、様々な人たちが集まっています。「道場は一つの社交場だと考えています。例えば、手を握っただけでもその人の体調が分かりますが、そんなスキンシップが大事です。合気道を通して色々な方とお付き合い出来る。これは素晴らしいことです」人と人とのつながりが大事...合気道を通してそんなことを教えていただきました。そしてその輪は、笠間から世界へと広がっていきます。

(財)合気会 茨城支部道場
道場長代行の磯山 博さん。
おだやかな笑みが印象的ですが合気道の腕前は八段! 師範として日本に限らず、世界各国を飛び回っています。



「道場は社交場です。まずは見学をどうぞ」

ここまで読んで合気道に興味を持った人は、ぜひ道場を見学してみましょう。稽古の雰囲気がよく分かります。稽古はほとんど毎日行われていて、やる気があれば好きに顔を出して構わないのだそうです。つまり、毎日稽古を受けることも可能ということです。稽古時間や会費を載せておきますので参考にして下さい。

稽古時間	月~土曜日/19:00~20:00
	日曜日/10:00~11:00
	※祝日及び特に指定した日は休みです。
合気会入会金	8,400円
会費(大人) 日曜稽古を含む	5,000円/月
(子供) 日曜稽古を含む	2,000円/月
日曜のみの稽古	2,000円/月

【問い合わせ】
財団法人 合気会 茨城支部道場
茨城県笠間市吉岡27-1 TEL 0299-45-0107
<http://www.13.big.or.jp/aikikai/index.html>



国際色豊かな稽古風景。ちなみに手前はイギリス人のカール。日本語が上手です。

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!

今年で2回目を終えた「いなだストーンエキシビジョン」を紹介し、石職人とデザイナーのコラボレーションという試みの中から、稲田みかげ石の新しい可能性を感じて下さい!

【その7】いなだストーンエキシビジョン

腕自慢の石職人と日本を代表するグラフィックデザイナーとのコラボレーション



「後世に残る仕事をしたい点は職人もデザイナーも同じ。石文化にもっとと親しみをもちたいです。」

職人とデザイナーでは仕事をする時間帯が違いますが、苦労もあつたとか...

いなだストーンエキシビジョン実行委員長の田守勝さん(有限会社田守石材店・代表取締役)。

右は松永真氏による指示書。日本を代表するデザイナーの注文はさすがに厳しい。これらを元に製作が行われた。

今年で2回目の「いなだストーンエキシビジョン」が開催されました。笠間の代表的な地産産業である稲田みかげ石。みかげ石業界は昔から比べると大きく変わり、外国産の安いみかげ石に押され、厳しい状況にあると言われてます。そんな中、世界で活躍しているグラフィックデザイナーがみかげ石を素材に芸術作品をデザインしました。ユニークなのはアーティストのイメージを、石を提供する石材店の職人が自慢の腕で加工(磨き・彫りなど)をして仕上げるところ。まさに、職人とデザイナーのコラボレーションです。

昨年の第1回作品と今年の作品は、中野組石材工業(笠間市稲田)の野外展示場に展示されています。見ていてワクワクするような楽しく素晴らしい作品ばかりです。雄大な石切山脈を背景に、感性を刺激する石のアートを見に出かけてみませんか。



森本千絵×鈴木石材店・田守石材店*「ひらく石。」



青木克憲×鈴木石材店*コベット

稲田みかげ石とは? 約6千万年前に形成された風化の影響の少ない硬質な花崗岩(かこうがん)。素材の良さから日本橋、東京駅、日本銀行、最高裁判所といった日本を代表する建築物に多く使われている。



展示場所/中野組石材工業株式会社石切場(笠間市稲田4260-1 tel 0296-74-2111) 問い合わせ/稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049



平松聖悟×石材組合青年部* チャレンジ



UGGサトー×中野組石材工業* SKYWAY



古平正義×山石材* ROCK/STONE



松永真×田守石材店* カリスマ

FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! ファン! ファン! カサマ ※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。



ふるさと案内人/海老沢 信雄(えびさわのぶお)さん

昭和17年、笠間生まれの64才。以来ずっと笠間で暮らす。定年まで県庁に勤務。現在は母親、妻、娘との4人暮らし。

笠間は城下町。笠間城を復元できたらうれしいですね。

- 長い間、県庁の中に居て、笠間で暮らしていても笠間を知りませんでした。地元のことをもっと勉強したくなって、ふるさと案内人になりました。当初からのメンバーで7年目になります。
- 勉強してみたら、笠間(鎌倉時代)から続いている歴史の重みを感じました。市内にはたくさんの史跡があるので「史跡巡りのツアー」ができたらいですね。
- 佐白山は、子供の頃からの遊び場が好きな所です。私が子供の頃には、大原屋とか笠間館、ほかにも多くの旅館がありました。若者さんもたくさん出入りしていて、みんな泊まりがけて楽しんでいました。今は車でパッと来て、日帰りしてしまうので、ずいぶん変わりました。
- 予算の問題はあるけど、笠間城を復元

できたらうれしいですね。笠間が城下町であった事を、忘れられているようです。●今は観光案内というより道案内になっているので、もっと勉強して観光案内ができるようになりたいです。●観光業者には「自分はふるさと案内人だ」という気持ちでお客さんと接してほしいです。何より大切なのは、おもてなしの心なのです。



島田 栄(しまださかえ)さん/郷土史家

郷土史家。元笠間町教育長。昭和5年、旧笠間町生まれの76才。

愛宕山から眺めた夜景の広がり素晴らしいですよ!

- 教育委員会に勤めていた関係もあり、かつ郷土の歴史に関心があったので、岩間の歴史・文化財に関わってきました。
- 岩間というと、合気道開祖・植芝盛平先生が開いた道場、世界でひとつの合気道神社があり、世界中から習いにやってくるので、子供から先生の所へはよく遊びに行っていました。

- ※4Pに合気道の記事があります。
- そして愛宕山でしょう。この山は200年の歴史がある山岳信仰、修験道の山です。たくさんの往來がありました。そのためたくさんの旅館があり、その前には女人堂もありました。
- 昔は愛宕権現様といって、仏様と神様が同居していたらしい。そこに13人の先達いて、それが十三天狗の伝説になっていったのです。
- 世にもめずらしいという事で、日本三大奇祭の一つとされる「悪態まつり」があります。これは愛宕神社裏にある飯綱神社のお祭りで、旧暦11月14日に行われています(今年は12月17日)。13人が白装束で天狗の格好をし、十三天狗のほらにお供え物をして回ります。この時に悪態(悪口)を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという、変わったお祭りです。この供え物を奪い取った人は、幸せになれると言われています。
- 笠間も三市町が合併したので、お互いに行ったり来たりして交流し、どんどん知り合っていけたらと思います。現在、紙上句会をして、友部・笠間の人たちとも出会うきっかけを作っています。
- 新たにハイキングコースを作りました。たくさんある史跡を巡って、地元の歴史

を知ってほしいです。●そして何といっても、愛宕山から眺めた夜景の広がりはずばらしいです。みんなに見てもらいたいです。

声 ファンファンボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

- 素敵な焼き物が沢山ある笠間が大好きです!また遊びに行きますね。(千葉県・女性)
- 県内在住なのに、なかなか訪れることがない笠間。行くとなんか足運びやすくなりますね。(茨城県・女性)
- 東京で生まれ育ち、お盆や正月へ田舎へ帰るといった経験がなかった私でも、笠間の風景には何故か懐かしさを感じます。私にとって笠間はそんな憧れの「故郷」です。(茨城県・女性)
- 笠間という地名にひかれます。魯山人の居宅を移築した土地だからでしょうか。2度と出来ない、世界で1つだけの茶碗を作りたいです。(京都府・男性)
- 2、3度伺いました。交通の便が良く無いのが残念です。(千葉県・女性)
- 陶芸家の知り合いが何人かいます。陶芸を趣味とした充実した日々を送っています。(茨城県・男性)

アートカクテルという試み

2006年の9月30日から11月4日まで、「アートカクテル2006」というイベントが開催されてきました。全国で活躍する現代美術のアーティスト34人が集結。笠間市内のあちこちに作品が展示されていました。ある時は空店舗、ある時は自転車屋さん、ある時はお寺の駐車場、ある時は見なれた景色といっしょに...オリエンテーリング感覚で作品を楽しむことが出来ました。「難解と思われがちな現代アートを身近に感じて欲しい」といったねらいが、主催者であるアーティストの皆さんにあったようです。足を運んだ人に感想を聞くと「難しいことを考えずに作品ひとつひとつを楽しんで、何かを感じれば良いですね」という答えが返ってきました。笠間に初めて来たという若い方も多く、新たな笠間のPRになったと思います。

2009年にも開催が予定されており、今から楽しみです。

作品上から(上) 高橋俊明「遺された記憶」展示場所: さくらガス、(中) 下) 松岡圭介「a standing man」展示場所: セーフティショップおおしま

観光客が選ぶおすすめショップ

酒 ピアノが聴けて立ち飲みも

10月に全面改装した、酒匠アドバイザー中村悦郎氏のいる酒店。黒を基調にシックな店内には、気軽に立ち飲み(日本酒200円〜)ができるスペースがあります。毎週金、土曜日の夜はピアノライブを開催。月1回はエレクトーンとのコラボレーションも。店オリジナルの日本酒「桂城」をはじめ、豊富な日本酒とワインなどを取り揃えています。

満寿屋 中村酒店
住/笠間市笠間982-1
電/0296-72-0125
営/8:00~21:00 休/年中無休
http://www.e-kasama.jp/masuya/

器 常時150名ほどの作品を展示

やきもの通りのほぼ中央に位置するお店です。常時150名ほどの陶芸家の作品が展示販売されています。使い勝手のよい普段使いの器から、伝統工芸の逸品まで豊富に取り揃えています。定期的に特別展もギャラリーで開催。エスニック輸入服飾雑貨のアートギャラリー「BAGUS」も併設。笠間に来たら必ず立ち寄りたいたいの良いお店です。

かつら陶芸
住/笠間市下市毛47-3
電/0296-72-6688
営/9:00~18:00 休/年中無休
http://www.katura-e-kasama.jp

特別展: 第2回 私の選んだ小品展 2007年1月1日(月・祝)~10日(水)

食 おいしい石挽きのそば粉と乾麺

厳選した常陸秋そばを使った、挽きたてのそば粉とおいしい乾麺を手に入れることが出来ます。昭和23年に設立されて以来、そばと筋。粗挽きが特徴のこちらのそば粉は、風味、甘み、香り、歯応えともに最高です。また、水戸と土浦に直営店(黄門そば水戸店/黄門そば土浦店)があるので、家まで待ちきれない!という人はそちらでぜひお召し上がりください。

有限会社 仲田盛商店
住/笠間市下郷4046
電/0299-45-2031 営/9:00~17:00
休/日曜日・祝日・年末年始
http://www.12.pala.or.jp/komon-soba/

黄門そば水戸店 tel 029-259-3618 黄門そば土浦店 tel 0299-59-4237



お稲荷さんコンテストへの協賛に際して 文・松田浅一 (松田食品工業株式会社 代表取締役社長)



本年(2006年)の4月16日、うらかな好季節を迎えた頃、笠間稲荷神社にて第1回お稲荷さんコンテストが行われましたが、ご縁がありそのスタッフに仲間入りをさせて頂きました。笠間のいなり寿司を新たな食の名物に育てようと、一生懸命に取り組まれている笠間稲荷寿司推進会議の皆様の熱いお心を社員から報告を通して聞き、私達も味付けいなり揚げ製造メーカーとして少しでも笠間の皆様のお役に立ちたいと、日々感じるようになった次第です。

笠間市は日本三大稲荷神社のひとつであり、五穀豊穡、商売繁盛、招福の神として全国的に有名な笠間稲荷神社を有しています。その歴史の重さは言うに及びません。また、信楽の陶工の指導によって当時の明主「久野半右衛門道延」が窯を開き、今日では笠間市の特産品としても有名な笠間焼の陶芸は、自分の感性で制作できるところが、弊社の商品開発に通じると考えます。

弊社の味付けいなり揚げは、常に厳選され

た大豆原料を使用しております。特殊技法によって生まれた良質の豆乳から作られたふっくらと美味しい油揚げを、1枚1枚心をこめて作っております。また、味付けの主原料である醤油は、国産の非遺伝子組替え大豆を使用した丸大豆特選醤油です。砂糖は国産のきび糖の一番糖を使用しております。しっとりとしたソフトな風味と、しっかりした甘さとコクが特徴です。今後ともお客様に健康、安心、安全をテーマに、満足いただける商品をお届けできるよう、社員一丸となって努力して参ります。そして、笠間お稲荷さんコンテストが更に発展され、繁栄される事を心より願うものであります。



笠間市は、桜の名所として有名な愛宕山、北山公園、つつじ公園を背景に、四季を味わえる桜まつり、つつじまつり、笠間の夏まつ

り、秋は菊まつりが開催されます。そして笠間稲荷を始めとする初詣、節分と続く催事は私達を自然の中に包んでくれる素晴らしい「まち」だと思います。食の文化、自然、特産品は益々笠間の「まち」を訪れる人達に感動を与えております。いなり一筋60年の松田食品工業株式会社といたしましても、この笠間の食文化に寄与していきたいと考えております。笠間のいなり寿司としてご満足頂ける味をお届け出来るよう、邁進努力させて頂く所存でございます。

活動報告

りんご狩り&秋食会 県内外から会員54人が参加！

2006年11月12日(日)、笠間ファン倶楽部の会員を中心に「りんご狩り&秋食会」が笠間クラインガルテンほかで開催されました。大人37人、子供17人の計54人が茨城県内外から参加し、りんご狩りなどを楽しみました。りんご狩りの後は、採れたてのりんごを使ってジャム作りを体験。ほかにも餅つきやこんにやく作りを体験し、楽しいひと時を過ごしました。

お待ちかねの昼食は、地元の方々による手作り料理に舌づつみ。笠間の素晴らしさを満喫出来た1日でした。



笠間ファン倶楽部 会員募集中

とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。笠間市民の方も加入できます。

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多く笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、是非皆さんお申し込み下さい。

- 1 笠間を好きな人。
- 2 笠間を応援したい人。
- 3 笠間をふるさとにしたい人。
- 4 笠間人(かさまひと)と交流したい人。
- 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。

【会員特典】 レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数！

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで申し込み下さい。

笠間出身者及びゆかりのある人募集

あなたの近くにいる笠間出身者やゆかりのある人を教えてください。ファン倶楽部の活動に役立てていきたいと考えています。また、笠間でイベントなどに積極的に裏方として参加してくれる人も募集中です。

全てのお申し込みは 笠間市産業経済部商工課 〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号 TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130 E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から 上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分または無料周遊バス20分)→笠間 上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間 東北方面から 郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間 →(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

高速バスからのアクセス

東京方面から(1日4往復) 東京駅八重洲南口→(常磐自動車道90分)→岩間→(R355)→友部→(R355)→笠間

車からのアクセス

東京方面から 三郷JCT→(常磐自動車道40分)→岩間IC→友部S/AスマートIC→笠間 友部JCT→(北関東自動車道)→友部IC→(R355)→笠間



- なるほどデータ/笠間の農業産出額ベスト5
- ① 畜産 33.2
 - ② 米 26.3
 - ③ 野菜・芋 12.2
 - ④ 果実 6.9
 - ⑤ 花木 5.2
- 単位/千万円 資料/農林業センサス2005

笠間市基本データ 人口：81,029人 (2006年10月現在)

面積：240.25平方キロメートル 駅の数：6駅

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

